

議 事 録

公開・ 一部公開 ・非公開	非公開 部 分 理 由	個人情報にかかると部分			
				保存期間	30 () ・ 10 ・ 5 ・ 3 ・ 1 ・ 随
				作成日	令和 3 年 2 月 26 日
部長	課長	課長補佐	係長	係	記録者所属 企画振興課 企画政策係
					職・氏名 主査 山浦 翔 印

会議等の名称	第5回市民まちづくり会議	開催日時	令和 3 年 2 月 24 日 (水) 午前・ 午後 6 時 30 分～ 午前・ 午後 7 時 45 分
		場 所	本館 2 階全員協議会室
主催者(事務局)	企画振興課	司会者	掛川一郎企画政策係長
出席者	有賀剛、五十嵐豊峰、小夫真、倉寫智彦、坂口永一、篠原博文、 竹内直弘、柘植香織、花岡裕子、松澤秀和、水間源 村山市議会議員、山崎市議会議員、上原生活安全係長、掛川企画政策係長、山浦、堀内 (傍聴人あ		
欠席者	大谷真宙、荻原猛、島田直政、鈴木絵美、田中隆、中澤亥三、柳橋悠香		

議 題	(議題) ・ 市民霊園の必要性に関するまとめについて ・ 委員発表 ・ 市民まちづくり会議規約案について	(配布資料) 別紙会議資料のとおり
決定事項 (要点を箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「市民霊園の必要性について」に関して市民まちづくり会議の提言でまとめる。 ・ 組織としての役割や目的を明確にするため規約を設ける。 	
次回への検討事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 規約案をそれぞれ検討する。 ・ 「SDG s 視点でできることは何か」を議論する。 	
次回開催	(日時) 3 月未定	(場所) 未定

討議内容及び経過	(発言者名)	(発言内容)
1 開会	掛川	今回は、前回の「市民霊園の必要性について」に関する振り返り、委員から新しテーマの発表、事務局の提案としたい。特に「市民霊園」についてはその後のボランティアなどの関わりはあるにしても市民まちづくり会議でどうするといった課題ではないため、会としての意見をとりまとめ提言していくためにも規約といった形で整備する必要があるかと思う。また議論いただきたい。 時間の都合で「市民霊園」に関する討議は割愛します。
2 市説明	上原	資料「市営墓地の建設検討経過」を説明。 市としても大きな課題として認識しており、令和3年度に墓地の在り方検討委員会を立ち上げ、1年間検討していくこととした。学識委員、地域団体の方、移住者などを10名以内の構成としたい。委員会で議論した内容を、市への提言としてまとめていく予定。
	掛川	発表者の有賀さんから発言をお願いしたい。
	有賀	話が進んで感激している。会議を控えて、松本の中山霊園を見学してきた。皆さんの援護射撃をいただきながら実現に向けて活動していきたい。
	委員	以前の検討経過のように再検討で終わらないでほしいこと、市民霊園だけでなく空き家や家族関係の情報提供を受けるなど、その先の連携も考えてほしい。
	山崎議員	この問題については、一般質問で取り上げている。私も3件の県内の市民霊園を視察し勉強してきた。寺院に空きがありその当時墓地は必要ないと判断した経過がある。合葬式墳墓は、市が運営することで後継ぎ問題に困らないという認識を持っている。田中地区の城ノ前区や白鳥台などの新興住宅地の方から、市のお墓に取り組んでもらえないかという声を聞いた。後継ぎ問題で苦慮している様子を伺っている。委員の皆さんからもやるべきとの意見をいただいた。アンケートもあるようなので、そういった形でも声を上げてほしい。
	掛川	市民まちづくり会議としても提言のような形でまとめていきたいので、今後の規約案に賛同いただけるようであればそのように進めていきたい。
3 委員発表	小夫	資料「妄想から実行の自己規範～地元で何が手伝えるのか」で発表。
	掛川	SDGsを着眼に、事業を考えると可能性が広がるといった提案をいただいた。時間も限られているので次回の討論「SDGsに着眼して自分たちにできることは何か」といったテーマで議論させていただきたい。
4 規約案について	山浦	「東御市まちづくり市民会議規約案」について説明 特に目的や活動内容の条文をご確認いただき、今後検討していきたいので持ち帰っていただき、次回以降協議していきたい。
	掛川	次回もう一度お聞きするのでメール等でもご意見いただきたい。自ら動くことから始まった会議だが自分たちでできないことは提言するといった形をとることも必要だと思うので、是非検討をお願いしたい。
5 その他	村山議員	皆さんの活動を知りたくて参加した。未来塾を思い出した。私自身も古墳を守る活動を行っていた。今後も一緒に活動させていただきたいのでよろしくお願いたします。
6 閉会	掛川	事務局で補助事業の申請も行っており、その際には運営費、事業費が捻出できるのでこんな話を聞きたい勉強したいなどテーマも考えていってほしい。次回日程は改めて連絡します。お疲れ様でした。